



# ゆくて遥かに

令和3年1月25日(月)

第142号

長野県松本深志高等学校長

## 3年生後期特編授業始まる(1月19日~2月12日)

18日は大学入学共通テストの自己採点日。大学入試センターによる正式な統計の発表は2月3日の予定ですので、それまでは業者が集めた自己採点の資料だけが頼りです。より正確なデータ収集のためにも全員出席で、と3年生に呼びかけましたが、

コロナ禍にもかかわらず欠席者はほとんどなく、順調に作業を進めることができました。今年初めて実施された共通テスト、出題傾向に大きな変化が見られ、予想

どおりの部分と想定外の部分とがあったようです。試験とはそういうものですね。今週からは国公立大学の個別試験(第二次試験)の出願受付が始まります。11都府県に緊急事態宣言が再発令された状態で、果たして二次試験が実施されるのかどうか。いずれにしても大学入試は天王山、ネバーギブアップで最後まで頑張れ!



## 年末年始の新聞記事から

年末から年始にかけて、本校生徒に関する新聞記事がいくつか掲載されました。県内の小中高生でつくる松本市が拠点の「ザ・ビッグバンド・オブ・ミュージックトイズ」が、年末恒例のウインターコンサートをキッセイ文化ホールで開いたニュース。バンドマスターは軽音楽部2年の赤津さん、何度かコメントが紹介されていました。特撮ヒーロー研究会は、本年度のオリジナルヒーローを新たに誕生させて、映像作品をインターネットで配信したという話題。(二つはいずれも信濃毎日新聞) 市民タイムスでは、短歌3兄弟として3年と1年の藤森兄弟が大きく取り上げられていました。生徒昇降口に掲示されています。



## 青燈賞表彰式(1月19日)

19日の昼休み、図書館において第40回「青燈賞」の表彰式が行われました。「青燈」というのは、今年で48年の歴史を持つ伝統ある本校の文芸誌です。そして青燈賞は青燈に応募された作品の中から最も優れたものに与えられる、由緒と権威のある文芸賞です。2006年の創立130周年の際に編集された「大青燈」(それまでの青燈の総集編)の扉には、次のような文章があります。「混沌・未熟・歪曲の中にある現代高校生の文化的危機に当たり、『青燈賞』は微力をも顧みず、高校生の中に一縷の希望の光を投げこむために設立された」教員と生徒により構成された審査員全員の一致がないと青燈賞は与えられず、長い歴史の中でも青燈賞に輝いた作品は9編のみ。もっとも最近受賞したのは2003年の「0の0乗を考える」という数学の論文でした。青燈はジャンルを問わず、文字数にもこれといった規定が存在せず、深志生であること、ただそれだけで誰でも投稿することができます。今回は文芸部門に31編(コロ



ナの影響か、近年にない応募数でした)、イラスト部門に7つの応募作品があり、審査の結果、入選・佳作・特別賞・奨励賞までは決まりましたが、大賞は、残念ながら今年も該当作品なしでした。

## 自治の精神を振り返る ～斉藤金司先生インタビュー～ (1月15日)

深志 11 回卒業で、母校で国語の教諭として 11 年間教鞭をとられ (私が高校生の時にもちょうど在籍されていました)、長野県の教育長や松本市の教育長を歴任された斉藤金司先生のインタビューが 15 日の午後、会議室で行われました。今年度、大学の先生方のご協力を得て、「自治の精神」を理念に生徒に主体性を求めてきたこれまでの本校の実践が、生徒の人間としての成長あるいは自立にいかにかに寄与しているか、の検証を進めていますが、その一環としてのインタビューです。お話の内容についてはまた後日、ま



とめて報告しようと思います。ここでは、いかにも斉藤先生らしいエピソードを一つ紹介します。

「一度だけ、白紙の答案に、点をやったことがある。テストは、覚えたことやわかったことを確かめるためのものではない。その時間こそは、生徒たちが自力で、読む力をつけ、新しい発見や深い感動に行きつく、一番いい『授業』の時間だ。テストは、最も集約的な『授業』なのだ。だから、試験問題は、問題文そのものがすぐれた内容のものでなければならず、設問は、その文章の本質に到達する過程であることが、鉄則だ。ある試験で、白紙の生徒がいた。返却しながら訳を聞くと、『こんな問題出しちゃいけない。問題文がすげえいい。感動して何度も繰り返し読んでたもんで、設問なんて解く時間はなかった』ということだった。いいなあ、と思った。自分の設定した方法とは異なる方法によってだったが、彼は、テストの時間を、みごとに、充実した一時間として『充填』したのだ。嬉しくて、『よし、点やるぞ』と、平均点をやった」(斉藤金司「学校の四季」より)

### その他の話題をいくつか

★ 県高文連合唱専門部より連絡があり、今年の8月開催予定の全国高等学校総合文化祭 (わかやま総文) に中信リーダーズコールの出場が決定、音楽部合唱班の生徒も参加することになりました。

★ 松本市の感染警戒レベルがレベル5に引き上げられたことや、GOTO トラベル事業が利用できないこと等を考慮して、本年度の一年生対象のスキー・スノーボード教室を中止することにしました。これまで、1学年会を中心に、様々な対策を考えながら開催に向けて準備を進めてきましたが、感染拡大が止まらない中での苦渋の判断となりました。入学後、新型コロナ感染症の影響により休校が続く、学年全体での行事も少ない状況で、宿泊を伴う貴重な学年行事の場ではありましたが、実施することができずに大変残念に思います。なお、今回の中止に伴うキャンセル料は発生しません。

### 今週の予定 (1・2年通常授業、3年後期特編授業)

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
25	月	学年会	こんにちは県議会です
26	火		県教頭会役員会
27	水	職員会	
28	木		校長会臨時総会
29	金	金①②③特④⑤⑥	↓
30	土		
31	日		
2/1	月	学年会	